2,021

合

計

(桜川市行政評価システム) 記入年月日 令和 4年度 事務事業評価表 (令和 3年度 の実績評価) 月 事業区分 事務事業名 桜の里づくり支援事業 新規/継続 継続 事務事業No. 040105001034 025101 政策体系上の位置付け 単独/補助 単独 所属課 総合計画の施策名 0401 農林業の振興 ヤマザクラ課 O4 活力ある産業のまちづくり 政策名 課長名 ヤマザクラグループ 施策名 農林業の振興 グルー 01 05 ⑤森林(里山)の保全と魅力づくり 系 手段名 担当者名 財務会計上の位置付け 誀 事業 一般会計 単年度繰返し (平成29 年度~) 細 予算科目 01 02 01 18 01 00 ヤマザクラの里づくり事業 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入 法令根拠 | 桜川市桜の甲づくり活動助成金交付要項、桜川市桜の甲づくり事業に係る原材料支給要項 事務事業の現状把握(その1) (D_0) (1) 事務事業の概要 ②担当者が行う業務の内容・やり方・手順 ①事務事業の概要(事務事業の全体像) 平成29年6月16日に制定した桜川市桜の里づくり活動助成金交付要項、桜川 桜の里づくり支援事業 市桜の里づくり事業に係る原材料支給要項により、山桜の保全、管理を行う団 (1) 参画団体の拡充のための周知及び事業説明、市広報紙等への掲 体等に対して支援を行う。 (2)活動助成金 【手続き】申請受付、交付決定、完了届受付、確 定通知、請求書受付、活動助成金の交付 (3) 原材料支給 【手続き】申請受付、交付決定、原材料購入、支 段 給 (2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、 指標値の推移 02年度 05年度 03年度 ○4年度 06年度 ①手段 (担当者の活動内容) (活動量を表す指標) 単位 4)活動指標 (実績) (実績) (計画) (目標) (目標) 桜の里づくり支援事業実施団体数 団体 900 11.00 15.00 15.00 15.00 (1)参画団体の拡充のための周知及び事業説 明市広報紙等への掲載(2)活動助成金⇒申請 受付、交付決定、完了届受付、確定通知 0.00 0.000.00 0.000.00 請求書受付活動助成金の交付 (3)原材料支給⇒申請受付、交付決定、原材 0.000.000.000.000.00料購入、支給 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 02年度 03年度 05年度 06年度 04年度 ②対象 (誰、何を対象にしているのか) 単位 ⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標) (実績) (実績) (計画) (目標) (目標) 桜川市の人口 人 39,122.00 38,422.00 37,852.00 37,282.00 36,712.00 市民 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.000.000.000.000.00∩2年度 04年度 05年度 0.3年度 06年度 (この事業によって対象をどう変え (対象における意図の達成度 ③意図 ⑥成果指標 単位 を表す指標) (実績) (実績) (計画) (目標) (目標) 125.00 300.00 山桜苗木植樹本数 本 10500 300.00 300.00 山桜と自然環境の保全を通じて、地域の課 題解決につなげ、「ヤマザクラと市民の幸 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 せが咲くまち桜川」を実現する。 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 02年度 03年度 04年度 05年度 06年度 期間限定 (3)投入量(事業費)の推移 (実績) (計画) (目標) (目標) 総投入量 国庫支出金 0 千円 \cap \cap 県支出金 千円 0 事 源 地方債 千円 \cap \cap \cap 投 使用料・手数料 千円 C 曹 訳 その他 千円 1,238 1,550 2,020 宇宙 -般財源 事業費計(A) 千円 1,239 1,551 2,021 5.00人 4.00人 4.00人 正規職員従事人数 量 03年度事業費 実績(千円) O4年度事業費 予算(千円) 10 需用費 352 10 需用費 105 13 使用料及び賃借料 22 15 原材料費 1,166 671 15 原材料費 18 負担金補助及び交付金 750

1,551

18 負担金補助及び交付金

 σ 内 訳 506

合

計

				(桜川市行政評価システム)
	里づくり支援事業	事務事業№.	40105001034	所属課ヤマザクラ課
平成29年6月16日に制定 するヤマザクラの保全とし	きっかけは、いつ頃どんな経緯で開始した桜川市桜の里づくり活動助成金3で、ヤマザクラが自生する森林等の質	を付要項、桜川市桜の里づくり	事業に係る原材料支給要	項により、桜川市に数多く群生
景観整備等を行う。				
(5) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか? 事業を実施している間は助成金の交付期間を5年間ではなく助成して欲しい。				
世来と大地している自身の対象はという。				
【See】 2. 評価の部	*原則は事前評価。			
評価項目 ①政策体系との整合性(この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?)				
現においている状	桜川市第2次総合計画と整合が取れ		_	
維 ② 公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?)(法定受託事業はその名称)				
安当である 「ヤマザクラと市民の幸せが咲くまち桜川」を実現するため、妥当である。 「ヤマザクラと市民の幸せが咲くまち桜川」を実現するため、妥当である。 である。 である。				
③ 成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?)				
向上余地がない	など利にに区の行事を増やすことにもなるので難しい。			
④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) 有				
京響有 市内山々の保全管理の取り組みが薄れ、山林だけでなく、農地や景観にも影響が出るおそれがある。 性 中内山々の保全管理の取り組みが薄れ、山林だけでなく、農地や景観にも影響が出るおそれがある。				
⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性がありますか?(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) 具体的な手段、事務事業名 身近なみどり				
余地がない				
⑥事業費・人件費の削除余地(成果を下げずに事業費を削除できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?)				
率 性 <u>削減余地がない</u> 最小限の事業費、人件費で事業を実施しており削減の余地はない。				
公 ⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?)				
平性 公正・公平である 「ヤマザクラと市民の幸せが咲くまち桜川」を実現するため、妥当である。桜川市桜の里づくり活動助成金交付要項、桜川市 桜の里づくり事業に係る原材料支給要項により、山桜の保全、管理を推進するための業務であり、構成・公平である。				
【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映) 「(1) 1次評価者としての評価結果 (2) 全体総括(振り返り、反省点)				
①目的妥当性 ■ 適切 ②有効性 ■ 適切 ③効率性 ■ 適切 ④公平性 ■ 適切	□ 見直し余地あり □ 見直し余地あり		診加団体においては、マサ	ベ471本。R3実施:11団体(新規 ザクラが自生する森林等の草刈りや を行った。
(3) 今後の事業の方向性				(4) カダ、カ羊にトフ期往代田
□ 終了 ■ 継続	□ 改革改善を行う □			- (4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要) コスト
□ 廃止 □ 休止	■ 現状維持			削減 維持 増加
(5) 改革, 改善を実現する	3上で解決すべき課題(壁)とその解	決策		
成維				
果持低下				
				(6)事務事業優先度評価結果
【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項				成果優先度評価結果 8
TCheck 4、確認及び改革改善に同じての指摘事項 (1) 課長評価 (2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)				
課長確認後の評価 確認欄				
A: 継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出				